



静岡市立子ども園において
目指す子どもの姿

- ・自己肯定感を高める子
- ・明るく伸び伸びと生活する子
- ・夢中になって遊ぶ子
- ・自分らしく表現する子
- ・楽しんで関わる子

＜園の教育・保育目標＞

丈夫な身体と豊かな心の子

＜地域の実態＞

- ・山、川等自然や寺院等歴史的的文化遺産が豊富
- ・住宅が増え、子育て世代が多い
- ・支援センターなど地域と連携している

＜重点目標＞

「わくわくがいっぱい」

～「やってみたい」

「みててね」が育つ園～

＜子どもの実態＞

- ・自分の思いを様々な方法で表現している
- ・様々なもの・こと・人に興味や関心、探究心を持ち意欲的に関わる姿が見られる一方で、遊びを継続し、探究を深めていく経験が少ない

＜学年目標＞

- 0歳児：応答的なやり取りの中で、安心して過ごす
- 1歳児：安心できる環境の中で、様々なことに興味関心を持ち関わろうとする
- 2歳児：安心して自分の思いを態度や言葉で表現し、好きな遊びを楽しむ
- 3歳児：興味関心を広げながらやりたい遊びを見つけ、保育者や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ
- 4歳児：自分の思いを出し合いながら、友達との関わりを広げる
- 5歳児：気づきや発見を楽しみ、考えやアイデアを伝え合いながら、友達と遊びを進める



一芯二葉



元気な身体と心

夢中になって遊ぶ子

心豊かな子

研修テーマ
「一人一人の思いが実現できる援助」

知識・技能の基礎

遊びや生活の中で、豊かな体験を通して、何を感じたり、何に気付いたり、何がわかったり、何ができるようになるのか

育みたい資質・能力

3つの資質・能力表を使い次につながる環境や援助を
遊びを通しての総合的な指導

思考力・判断力・表現力等

遊びや生活の中で気付いたこと、できるようになったことなども使いながら、どのように考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか

心情・意欲・態度が育つで、いかによりよい生活を営むか

学びに向かう力・人間性

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の活用

子どもの育ちを支える
職員集団

- ・互いに信頼し協力する保育者
- ・こと・人・ものとの関わりを子どもと一緒に楽しむ保育者
- ・子どもの思いを知り、受け止め・待つ・支えることができる保育者



心動かす直接体験や
発達をおさえた環境構成

- ・生活リズムが整い、安心して遊びを選び、工夫し、繰り返し取り組む経験を積み重ねる
- ・身体の諸感覚を使い、心動かす豊かな直接体験の充実（茶摘み、蝶が訪れる園庭など）

安心と挑戦が循環する教育・保育

- ・「やってみたい」と自ら挑戦し、「みててね」と安心できる関係性の中で育ち合う土台を築く
- ・自分で遊びを選び、工夫し、繰り返し取り組む
- ・子どもの心のサインを丁寧に受け止め、挑戦する喜びと認められる安心感が循環する関わりの実践
- ・安心と挑戦の循環を通して、子どもたちのウェルビーイング（心身ともに満たされた状態）を高める

地域・保護者との連携

- ・参観会や保護者会を通して、保護者と共に子どもを育てる
- ・様々な地域の人との関わりを通して愛着を育み、切れ目のない支援で生きやすい社会づくりを目指す
- ・支援センター来園者の親子との関わりを大切にする
- ・小学校や近隣園との交流（1年生体験授業、近隣園交流等）を重ねる

